



大阪歯科大学

兵庫県同窓会報

'93秋
51

も く じ

発展と創造活力ある連帯をめざして……村井会長……	1
平成5年度第1回総会……	2
平成5年度第1回役員会……	6
平成5年度第1回役員会・分会長、支部長会、クラ ス幹事会、諮問委員会……	7
第38回会員大会、新卒歓迎会……	13
第12回全国会員大会準備委員会……	16
分会支部だより……	19
クラス幹事だより……	21



発展と創造

—活力ある連帯をめざして—

大阪歯科大学
兵庫県同窓会会長

村井俊郎

8月21日に新神戸オリエンタルホテルで開催された大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会は、あの広い会場が溢れる程の多数の同窓が参加してきわめて盛況であった。

第1部のセレモニーでは奥野喜一本部同窓会長、佐川学長はじめ多くのご来賓が驚嘆される程活気に溢れ、整然と進行することができ、また、第2部の懇親会でも同世代が同じテーブルに配席されるなどのきめ細やかな設営に、和気あいあいの雰囲気の中で真に同窓の催しらしく学生時代に還った気分が横溢していた。

この大会のために終始ご苦勞頂いた摂津分会の先生方と関係の役員の方々に、心からお礼を申し上げます。

その兵庫県同窓会が来年10月1日には全国同窓の会員大会をお世話して、同じ新神戸オリエ

ンタルホテルで開催致します。

発展と創造—活力ある連帯をめざして—のタイトルのもとに、全国から大歯大同窓が約3,000名参加と見込んでいます。

久方ぶりの兵庫県開催です。

すでに同窓会役員による準備委員会も発足して着々と進行しています。

母校は創立85周年を目途として今、新しいキャンパスに6年一貫教育の新学舎と、天満の現在地に14階建ての近代的病院を建設しようと作業が進んでいます。

来年の全国会員大会の頃には、その経過も判然として来る頃です。

大会のタイトルのように85年の歴史と伝統を更に21世紀への創造の転機として捉え、活力にみちた同窓会へとめざしたいものであります。

平成5年4月10日(土)

村井会長を再選

内海、河合両監事の 留任を承認



平成5年度第1回総会は、4月10日(土)午後4時から兵衛会館5館ホールで開かれ、平成4年度決算、平成5年度事業計画並びに予算などを審議し、いずれも原案どおり承認され、会長選出では全員拍手で村井会長を再選し、監事選出でも、内海、河合両監事を留任とした。

総会は、志築専務が司会し、長濱副会長の開会のことば、伊藤副会長の議長で進められ、議事録署名人に小野晃(芦屋市)、豊川輝久(灘区)両氏を指名した。

村井会長あいさつ(要旨)

「わが兵庫県同窓会は先生方のお力添えにより所期の目的に沿って、母校の支援、会員相互の親睦、学術の研修など活発な事業を展開しているところである。

○母校の新キャンパス構想について

3月29日の法人評議員会で、基本構想が議題として提出され、基本方針が決定した。これに従って、京阪樟葉沿線の校有地に6年一貫教育の学舎と教育病院を新設する。

現在の天満学舎(約2,000坪)は最新建築のG棟のみ保存し、他を取り壊して最新式の病院を建設し、残りの土地にはテナントビルを建て収益事業をする計画である。所要費用は約200億円程度を目途としている。

○平成5年度新入生について

128人定員(うち女学生38人)で入学したが、本年入学生から6年一貫教育のカリキュ

ラムで授業が行われ、同時に土曜日休講の週5日制となる。

○全国会員大会について

兵庫県同窓会は、3月末日で現役員の任期は満了しているが、当面の大事業として、平成6年10月1日兵庫県で開催する「全国会員大会」がある。全国から約3,000人の同窓生を迎え、成果のある会員大会に盛り上げていく必要があり、後程、新役員が決定すれば、そこから新しい準備委員会を発足させて企画を進めていきたい」。

続いて、学位受領者の表彰に移り、高石佳知氏ら4人に村井会長より表彰状と記念品が贈られ、代表して同氏が謝辞を述べた。

報告

- | | |
|---------|------|
| 1) 会務報告 | 志築専務 |
| (資料) | |
| 2) 会計報告 | 三坂常任 |
| 3) 本部報告 | 志築専務 |

(詳細については、本部同窓会報147・148号をご覧ください)

なお、村井会長は学校法人監事から同理事に就任しました。

議事

第1号議案 平成4年度収入支出決算

三坂常任の説明、河合監事の監査報告があつて、異議なく承認した。(資料)

第2号議案 平成5年度事業計画及び平成5年度収入支出予算

志築専務が事業計画を、三坂常任が予算をそ

れぞれ説明し、挙手多数で承認した。(資料)

第3号議案 会費の額及び徴収方法

会費の額 年額12,000円(2回)

徴収方法 社保診療報酬から差し引く

第4号議案 会長の選出について

村井会長の留任を全員異議なく了承し、ここで村井会長が「同窓会各般の面に十分な対応をしていく所存であり、引き続きご支援をいただきたい」と留任のあいさつをした。

第5号議案 監事の選出について

内海利正(中央区)、河合範夫(須磨区)両監事の留任を承認した。

協議

1) 第38回会員大会について

8月21日(土)新神戸オリエンタルホテルで開かれる会員大会の準備状況について、今井章(摂津分会長)氏が説明した。最後に小田副会長のことばで閉会した。

会員数 (平成5年2月28日現在)

分会名	支部名	会員数
神戸分会	東灘支部	74名
〃	灘支部	56
〃	中央支部	122
〃	兵庫支部	59
〃	長田支部	53
〃	須磨支部	46
〃	垂水支部	43
〃	北支部	44
〃	西支部	16
〃	明石支部	65
〃	三田支部	10
尼崎分会		169
西宮分会		147
摂津分会	伊丹支部	39
〃	川西支部	26
〃	宝塚支部	55
〃	芦屋支部	33
播磨分会	三木・美囊支部	15
〃	小野・加東支部	12
〃	西脇・多可支部	15
〃	加西支部	10
〃	播磨支部	66

〃	姫路・神崎支部	128
〃	揖 竜 支 部	15
〃	宍 粟 支 部	12
〃	相生・赤穂・佐用支部	27
丹波分会	多 紀 支 部	9
〃	氷 上 支 部	15
但馬分会	南 但 支 部	12
〃	北 但 支 部	12
〃	美 方 支 部	1
淡路分会	洲 本 支 部	15
〃	津 名 支 部	12
〃	三 原 支 部	13
合 計		1,452名

(前年同に比べ 12名減)

物故会員

地区	氏名	卒回	年齢	死亡年月日
垂水区	西村 直俊	大6	59歳	平成4年4月7日
西宮市	安井 博	専6	87	平成4年6月7日
中央区	佐本 逸郎	大10	55歳	平成4年6月10日
尼崎市	熊谷 重夫	専12	83歳	平成4年6月28日
明石市	中村米太郎	専21	77歳	平成4年7月6日
兵庫区	近藤 正明	専17	77歳	平成4年7月15日
中央区	中川尾之助	専4	94歳	平成4年8月1日
西脇市 多可郡	伊藤 泰隆	専17	80歳	平成4年8月25日
兵庫区	和田 輝郎	大20	45歳	平成4年9月7日
西宮市	藤尾 喬	専32	62歳	平成4年9月26日
東灘区	梅村 武	専32	63歳	平成4年10月18日
尼崎市	原 肇	専21	75歳	平成4年11月7日
相生赤穂 郡	中江 数一	専9	89歳	平成4年12月2日
三田市	北川 重信	専19	77歳	平成4年12月15日
尼崎市	奥野 半蔵	専6	89歳	平成4年12月18日
多紀郡	天野 茂	専23	73歳	平成5年1月31日
灘区	三浦 三義	専31	64歳	平成5年2月15日
尼崎市	乾 一郎	専20	77歳	平成5年2月21日
中央区	中田 宏	京城	81歳	平成5年3月9日
明石市	森 俊夫	専27	68歳	平成5年3月24日

以上 20名

学術講演会

日時 平成5年2月13日(土)午後2時
 場所 兵庫県歯科医師会館5階ホール
 演題 「高齢者の歯内療法について」
 講師 京都府立医科大学
 助教授 堀 亘孝氏

平成4年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出決算書

(自 平成4年4月1日
至 平成5年3月31日)

収入額 21,562,707円

支出額 17,491,900円

差引収支差額 4,070,807円

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,650,000	16,920,000		270,000	
第1項 会 費	16,650,000	16,920,000		270,000	
第二款 雑 収 入	1,555,661	1,561,000		5,339	
第1項 雑 入	30,661	50,000		19,339	
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	1,525,000	1,510,000	15,000		
第三款 繰 越 金	3,357,046	3,357,000	46		
第1項 繰 越 金	3,357,046	3,357,000	46		
合 計	21,562,707	21,838,000		275,293	

支出の部

科 目	本年度 決算額	本年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	3,303,181	4,630,000		1,326,819	
第1項 事 務 費	1,665,000	2,230,000		565,000	
第2項 旅 費	551,000	1,200,000		648,640	
第3項 通信印刷費	688,472	800,000		111,528	
第4項 消耗品費	314,658	300,000	14,658		
第5項 雑 費	83,691	100,000		16,309	
第二款 会 議 費	2,740,083	3,000,000		259,917	
第1項 会 議 費	2,740,083	3,000,000		259,917	
第三款 事 業 費	11,448,636	13,500,000		2,051,364	
第1項 学 術 費	264,950	500,000		235,050	
第2項 広報宣伝費	649,610	1,000,000		350,390	
第3項 福祉厚生費	2,291,622	3,500,000		1,208,378	
第4項 会務連絡費	962,258	1,500,000		537,742	
第5項 表彰慶弔費	1,197,600	1,000,000	197,600		
第6項 諸見舞金	1,200,000	1,200,000			
第7項 渉 外 費	2,382,596	2,300,000	32,596		
第8項 時局対策積立金	2,500,000	2,500,000			
第9項 学術奨励金	0	0			
第四款 予 備 費	0	708,000		708,000	
第1項 予 備 費	0	708,000		708,000	
合 計	17,491,900	21,838,000		4,346,100	

平成5年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出す算書

(自 平成5年4月1日
至 平成6年3月31日)

収入額 22,481,000円
支出額 22,481,000円

収入の部

(単位：円)

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	16,920,000	16,920,000			月1,000円×12ヶ月×1,410名
第1項 会 費	16,920,000	16,920,000			
第二款 雑 収 入	1,561,000	1,561,000			
第1項 雑 入	50,000	50,000			預金利子
第2項 寄 付 金	1,000	1,000			
第3項 本部手数料	1,510,000	1,510,000			10,000円×1,410名×10% 本部より過年度分100名含む
第三款 繰 越 金	4,000,000	3,357,000	643,000		
第1項 繰 越 金	4,000,000	3,357,000	643,000		
合 計	22,481,000	21,838,000	643,000		

支出の部

科 目	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	6,920,000	4,630,000	2,290,000		
第1項 事 務 費	1,660,000	2,230,000		570,000	
第2項 旅 費	1,200,000	1,200,000			
第3項 通信印刷費	2,250,000	800,000	1,450,000		名簿印刷
第4項 消耗品費	300,000	300,000			事務用品
第5項 事務委託費	1,410,000	0	1,410,000		新設項目
第6項 雑 費	100,000	100,000			
第二款 会 議 費	3,000,000	3,000,000			
第1項 会 議 費	3,000,000	3,000,000			役員会・常任理事会
第三款 事 業 費	12,000,000	13,500,000		1,500,000	
第1項 学 術 費	500,000	500,000			
第2項 広報宣伝費	1,000,000	1,000,000			会報発行
第3項 福祉厚生費	3,500,000	3,500,000			
第4項 会務連絡費	1,000,000	1,500,000		500,000	幹事会
第5項 表彰慶弔費	1,000,000	1,000,000			
第6項 諸見舞金	1,200,000	1,200,000			@20,000×60名
第7項 渉外費	2,300,000	2,300,000			
第8項 時局対策積立金	1,500,000	2,500,000		1,000,000	時局対策積立金会計へ支出
第四款 予 備 費	561,000	708,000		147,000	
第1項 予 備 費	561,000	708,000		147,000	
合 計	22,481,000	21,838,000	643,000		

第三款 事業費 第9項 学術奨励金 廃項 第一款 事務費 第5項 経費を 第6項 雑費に変更
第一款 事務費 第5項 事務委託費 新設

本年度学位受領者

氏名	卒回	地区名	受領日
荒垣 雅人	大20	川西市	平成4年6月24日
高石 佳知	大27	姫路市	平成5年3月24日
辰己 浩隆	大36	兵庫区	平成5年3月6日
田村 功	大37	中央区	平成5年3月6日

平成5年度 事業計画

1. 会員の学術研修に関する事項
2. 会員の福祉共済に関する事項
3. 慶弔に関する事項
4. 会報の発行
5. 各歯科大学同窓会・校友会との親睦に関する事項
6. 渉外に関する事項
7. その他目的達成のために必要な事項

平成4年度 財産目録

(平成5年3月31日)

大阪歯科大学兵庫県同窓会

(単位：円)

科目	取引銀行	金額
(1) 一般会計 普通預金	さくら銀行 兵庫支店	4,070,807
(2) 時局対策積立金 定期預金	さくら銀行 兵庫支店	9,642,492
(3) 学術奨励金 定期預金	さくら銀行 兵庫支店	5,790,549
(4) 備品	トランシー バー 4台	

平成5年度 第1回 大阪歯科大学兵庫県同窓会役員会

平成5年4月10日(土)

平成5年度第1回の役員会が4月10日(土)午後3時30分から開かれ、この後4時から開催される総会を控えて、提出議案、第38回会員大会などを協議した。

役員会は志築専務が司会し、中塚副会長の開会のことばで始められ、伊藤副会長を議長に選出し、議事録署名人に高津全雄(洲本市)、清原光次(長田区)両氏を指名した。

村井会長あいさつ(要旨)

私たちの任期は平成5年3月末日をもって終了しているが、同窓会の総会は年1回開催のため、平成4年度決算も同時に行うことから、4月に入ってから総会を開くことになっていることをご理解いただきたい。

日頃は、同窓会会務運営に格別のご協力をいただき、お蔭で順調に推移していることに感謝したい。平成6年10月1日に全国会員大会を兵

庫県で開催することになっており、全国から約3,000人の同窓の方々を迎えることになる。後程の協議でよろしくお願ひしたい。

報告

- 1) 会務報告 志築専務理事
会員数1,452人(2月28日現在)
- 2) 会計報告 三坂常任理事
4月9日に監査会が開かれた
- 3) 本部報告 志築専務理事
参考資料について説明
以上、報告については総会で詳述する。

協議

- 1) 総会開催について
総会日程、議案について志築専務理事、三坂常任理事がそれぞれ説明し了承した。
- 2) 第38回会員大会について
8月21日(土)摂津分会の当番で、新神戸オリエンタルホテルで開催する。
小田副会長の閉会のことばで日程を終えた。

平成5年度 第1回 大阪歯科大学兵庫県同窓会 役員会・分会長・支部長会・クラス幹事会・諮問委員会

平成5年5月29日(土)

平成5年度第1回の役員・分会長・支部長・クラス幹事・諮問委員による合同会は、5月29日(土)午後2時30分から兵庫会館5階ホールに学部30回卒までの新役員が参集して開かれ、兵庫県同窓会会員大会、全国同窓会会員大会などについて協議した。

合同会は志築専務理事が司会し、中塚副会長の開会のことば、伊藤副会長を議長に選出して進められ、議事録署名人に美田良治(専32・明石)、安留力(大5・西宮)両氏を指名した。

村井会長あいさつ(要旨)

さる、4月10日の総会で平成5年度から新たに会長に選出され、その任に当たることになった。その後、会則に従って、それぞれの役職に委嘱したところ、心よくお引き受けいただき、感謝したい。

わが母校、大阪歯科大学は創立以来82年という古い歴史となった。同窓生は24歳から80歳まで、幅広い年齢層からなり、今回、学部30回卒までの同窓生に役員を委嘱した。

○大学キャンパス問題について

新しい学舎と附属病院を楠葉の校有地に建設することになっているが、5月31日に第1回建設委員会が開かれ、具体的に第一歩を踏み出した。現在保有している約500億円の資金の中、新学舎と病院に約200億円を充てる予定である。

○6年一貫教育について

3年前、文部省の制度改革により、6年一貫教育となり、すでに実施しているが、本年度の新入生から解剖学が始まるなど、6年一貫のカリキュラムで授業が進められている。

○情報処理教育について

牧野学舎で3年前から、学生に各1台のコンピュータを設置して教育しているが、天満学

舎でも必要なことから、同様に設置して教育に利用している。

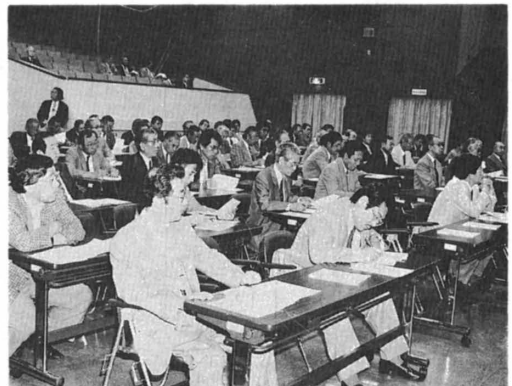
○会員大会について

本年8月には兵庫県の会員大会が開かれ、明年10月には全国大会を兵庫県が当番で開かれることになっている。

全国から約3,000人の同窓が参加される予定であり、今後ともご協力をお願いしたい。

報告

- 1) 会務報告 志築専務理事
平成5年度新役員、県下各同窓(校友会)会員数などの資料について(資料)
- 2) 会計報告 三坂常任理事
4月30日現在の収支現況について(資料)
- 3) 本部報告 志築専務理事
平成5年度大学入学に関して
入学定員128人中78人が同窓の子弟で、内訳は、推薦入学者22人、一般入試合格者56人



となっている。女子学生は44人で34%を占めており、兵庫県から22人が入学している。

協 議

- 1) 第38回兵庫県同窓会会員大会について
平成5年8月21日(土)午後2時受付開始
新神戸オリエンタルホテル10階真珠の間、摂津分会の当番で、アトラクションは伊丹太鼓の予定。
- 2) 第12回全国同窓会会員大会について
平成6年10月1日(土)新神戸オリエンタルホテルで、約3,000人参加を予定。(資料)
最後は、志築専務理事の閉会のことばで合同会を終え、引き続き、京大医学部口腔外科学・飯塚忠彦教授による「口腔外科から見た有病者歯科の実際」と題した学術講演会が開かれた。



講演する飯塚教授

県下各同窓(校友)会会員数調

平成5年3月31日現在

同 窓 (校友) 会 名	会員数	百分比 (%)
大阪歯科大学兵庫県同窓会	1,398	50.6
大阪大学歯学部同窓会兵庫県支部	204	7.3
朝日大学歯学部同窓会兵庫県支部	166	6.0
東京歯科大学同窓会兵庫県支部	109	3.9
愛知学院大学歯学部同窓会兵庫県支部	121	4.3
日本歯科大学兵庫県校友会	81	2.9
九州歯科大学同窓会兵庫県支部	86	3.1
日本大学歯学部同窓会兵庫県支部	82	2.9
明海大学歯学部同窓会兵庫県支部	84	3.0
神奈川歯科大学兵庫県同窓会	69	2.4
松本歯科大学校友会兵庫県支部	75	2.7
東京医科歯科大学同窓会兵庫県支部	40	1.4
広島大学歯学部同窓会兵庫県支部	43	1.5
岩手医科大学歯学部同窓会兵庫県支部	16	0.5
鶴見大学歯学部同窓会兵庫県支部	19	0.6
そ の 他	169	6.1
合 計	2,762	

- (注) 1. 各同窓(校友)会の会員数と兵庫県歯科医師会の会員数とは一致しないこと。
2. 同窓会未結成の大学出身の兵庫県歯科医師会会員が存在すること。

予 告

第12回 全国同窓会会員大会

日 時：平成6年10月1日(土)

場 所：新神戸オリエンタルホテル

当 番：大阪歯科大学兵庫県同窓会

兵庫県歯科医師会入会者の出身校調

出身校名	平成3年度	平成4年度
大阪歯科大学	18	16
福岡歯科大学		1
松本歯科大学	6	8
大阪大学歯学部	6	5
愛知学院大学歯学部	3	1
徳島大学歯学部	6	3
日本歯科大学	2	
朝日大学歯学部	7	17
九州歯科大学	1	4
北海道大学歯学部		1
明海大学歯学部	6	4
神奈川歯科大学	3	1
東北大学歯学部		1
広島大学歯学部	1	5
日本大学歯学部	1	4
東京歯科大学	2	
岡山大学歯学部	2	3
東京医科歯科大学歯学部	1	
新潟大学歯学部	1	1
鶴見大学歯学部	2	
東日本学園大学歯学部	2	1
釜山大学歯学部		1
奥羽大学歯学部	1	
長崎大学歯学部	1	1
合計	72	78

県下各同窓会・校友会会員数一覧表

平成5年3月31日現在

(兵歯会員名簿より)

大 歯	1398
阪 大 歯	204
朝 日 大 歯	166
東 大 歯	109
愛 大 歯	121
日 大 歯	81
九 大 歯	86
日 大 歯	82
明 海 大 歯	84
神 大 歯	69
松 大 歯	75
医 歯 大 歯	40
広 大 歯	43
岩 医 大 歯	16
鶴 大 歯	19
そ の 他	169
合 計	2762
(その他内訳)	
女 医 会 43	京 城 14
徳 大 歯 18	ソ ウ ル 2
新 潟 大 歯 8	九 大 歯 4
福 大 歯 21	岡 大 歯 12
試 験 合 格 13	高 雄 2
東 北 大 歯 8	台 北 2
北 大 歯 6	長 大 歯 4
東 日 大 歯 6	鹿 大 歯 1
昭 大 歯 1	奥 羽 大 歯 1

大阪歯科大学兵庫県同窓会役員

会 長	村井 俊郎		
副 会 長	伊藤 彰彦	小田 一尚	
	中塚 裕	渡部 潔	
	長浜 禎昭		
専務理事	志築 照和		
常任理事	志水 和夫	美田 良治	
庶務	嘉ノ海昭吾	岡田 利雄	
	前田 孝俊	一瀬 健二	
	井上 正俊	石田稜威夫	
	本庄 紘	矢富 義昭	
会 計	三坂 明美	池田 英綱	
学 術	西田 真和	増田 勝美	
	山脇 潤三	久保 龍三	
	藍 亮一郎	大矢 信夫	
	佐藤 莞爾	高木 馴次	
	大野 正迪	橋本 猛伸	
	大頭 孝三	住谷 道夫	
	沢田 隆	神田 孝平	
広 報	中森 康二	川村 幸雄	
	永井 愛正	木許 隆道	
	橋本 卓次	北 英一	
	水田 吉彦	中野 浚次	
	豊川 輝久		
福 祉	寺西 敏一	赤井 崇郎	
	四柳 嘉清	次橋 作藏	
	飯田 浩司	河村 宏	
	末岡 彬	清水 強	
	山田 隆造	明石 貴雄	
	奥田 健	幸田 洋一	
	庄司 武		
組 織	田村 正	瀧野 俊一	
	森鼻 正之	小野 勉	
	今井 章	山岡 昭二	
	保井 諧至	南木 秀夫	
	藤井 昭	正井 洋児	
	鯉田 英昭	森岡 慧	
	田村 宏	河南 博仁	
	安留 力	西條 晃	
	村瀬 進	野口 勝弘	
	永井 清方	川口 豊	

井堂 孝純	藤田 義人
笠原 義人	橋川 司
善本 秀知	小川 靖彦
関川 健	小坂 修
蓮池 俊明	小野 晃
宇賀 文夫	前野 康彦
清水 保則	清水 栄一
天方 孝彦	坂口喜史夫
長谷川秀明	記村 恭造
西海 啓之	和田 透
飯島 恵一	中川 真
入江 恒夫	正井 正
佐本 高明	
中村 要	足立 維
高津 全雄	龍田 早苗
塚本 昇平	木村 新秀
守内 道信	下井田久仁夫
嘉ノ海寿八郎	香山 守
上田 晴敏	豊後 護
安保 博之	金月 清
宮本 弘義	糸田 英俊
清原 光次	馬場 弘
岩田 益司	檜垣 鋭治
加宮 義郎	原 平和
和久 勝彦	吉田 圭輔
中塚 史朗	黒田 延彦
水野 康朗	高田 邦彦
淀 泰尚	吉本 一馬
守光 昌弘	滝本 亜樹
関本 恵一	浜田 邦夫
志賀 泰之	青木 和明
深澤 英輔	和手 基京
浜田 幸人	糸永 茂雄
吉江 重夫	西山 彰
東 文宣	志築 秀和
永谷 敏	赤井 高之
渡部 豊	
内海 利正	河合 範夫
井上貴之介	大浦 波夫
竹谷 三省	溝井三代次
湊 信一	永津 良三
磯島吉之祐	津島 大麓

渉 外

理 事

監 事

諮問委員

岡田 一三 稲垣 真也
 和田 茂之 松本 清
 塩見 洋三

〃 美方 松岡 弥栄
 淡路分会分会長 津名 竹谷 三省
 支 部 長 洲本 吉田 圭輔
 〃 津名 馬場 弘
 〃 三原 糸田 英俊

大阪歯科大学兵庫県同窓会分会役員

神戸分会分会長 中央 飯田 浩司
 支 部 長 東灘 下井田久仁夫
 〃 灘 滝本 譲
 〃 中央 岡田 太郎
 〃 兵庫 岡田 誠一
 〃 長田 清原 光次
 〃 須磨 内海 健雄
 〃 垂水 藤井 昭
 〃 明石 川口 豊
 〃 三田 豊後 護
 〃 北 藤田 義人
 〃 西 宮本 弘義
 尼崎分会分会長 尼崎 志築 照和
 西宮分会分会長 西宮 安留 力
 摂津分会分会長 川西 今井 章
 支 部 長 伊丹 南川 嘉昌
 〃 川西 青山 康介
 〃 宝塚 加宮 義郎
 〃 芦屋 池沢 親彦
 播磨分会分会長 播磨 山脇 潤三
 支 部 長 三木 深澤 英輔
 〃 美囊 小野 原 要次
 〃 加東 小野 原 要次
 〃 西脇 廣田 昌逸
 〃 多可 村上 寛人
 〃 加西 村上 寛人
 〃 播磨 守光 昌弘
 〃 姫路 岩田 益司
 〃 神崎 岩田 益司
 〃 揖斐 福本 利郎
 〃 宍粟 大橋 隆元
 〃 相生 小川 靖彦
 〃 赤穂 小川 靖彦
 〃 佐用 小川 靖彦
 丹波分会分会長 氷上 足立 維
 支 部 長 多紀 田中 英男
 〃 氷上 足立 維
 但馬分会分会長 南但 瀧野 俊一
 支 部 長 南但 芦沢 修
 〃 北但 荒垣 淳一

大阪歯科大学兵庫県同窓会クラス幹事

専 4 小田中 務 専 5 橋本 六也
 専 7 高木 馴 専 11 一瀬 耕介
 専 12 清水 省吾 専 13 高木 定夫
 専 15 井上貴之介 専 16 若林 益夫
 専 17 林 清徳 専 18 湊 信一
 専 19 谷上 利夫 専 20 石上 隆章
 専 21 小寺 長蔵 専 22 佐久間恒男
 専 23 八竹 良清 専 24 遠藤 哲雄
 専 25 寺西 敏一 専 26 田村 正
 専 27 高端 友之 専 28 瀧井 源也
 専 29 田中 義孝 専 30 関川 健
 専 31 宮坂与四郎 専 32 藤本 和夫
 医定 石橋 彦介 京城 吉本 二郎
 大 1 山田 旺 大 2 佐々木重夫
 大 3 中村 博司 大 4 田村 宏
 大 5 守内 道信 大 6 西條 晃
 大 7 下井田久仁夫 大 8 河村 昌行
 大 9 一ツ町泰久 大 10 水田 吉彦
 大 11 大野 正迪 大 12 黒田 延彦
 大 13 井堂 孝純 大 14 本庄 紘
 大 15 入江 恒夫 大 16 関本 恵一
 大 17 青木 和明 大 18 和手 甚京
 大 19 藤田 義人 大 20 親里 嘉之
 大 21 入船 忠史 大 22 依藤 正
 大 23 糸永 茂雄 大 24 吉江 重夫
 大 25 西山 彰 大 26 志築 秀和
 大 27 井口 利彦 大 28 永谷 敏
 大 29 赤井 高之 大 30 渡部 豊
 大 31 楠瀬 昌宏 大 32 俣木 康彰
 大 33 中原 範人 大 34 岩城 正之
 大 35 佐竹 茂樹 大 36 前田 孝哉
 大 37 田村 功 大 38 橋谷 義尚
 大 39 崎山 清直 大 40 藤原 到
 大 41 中野 敬輔

平成5年度 大阪歯科大学兵庫県同窓会 収入支出現況報告書

収 入 額 4,106,807円

支 出 額 1,939,554円

差 引 収 支 差 額 2,167,253円

平成5年4月30日現在

収 入 の 部

科 目	収 入 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 会 費	36,000	16,920,000		16,884,000	月1,000円×12ヶ月×1,410名
第1項 会 費	36,000	16,920,000		16,884,000	
第二款 雑 収 入	0	1,551,000		1,561,000	
第1項 雑 入	0	50,000		50,000	預金利子
第2項 寄 付 金	0	1,000		1,000	
第3項 本部手数料	0	1,510,000		1,510,000	10,000円×1,410名×10% 本部より過年度分100名含む
第三款 繰 越 金	4,070,807	4,000,000	70,807		
第1項 繰 越 金	4,070,807	4,000,000	70,807		
合 計	4,106,807	22,481,000		18,374,193	

支 出 の 部

科 目	支 出 額	本 年 度 予 算 額	比 較		摘 要
			増	減	
第一款 事 務 費	214,971	6,920,000		6,705,029	
第1項 事 務 費	70,000	1,660,000		1,590,000	
第2項 旅 費	69,980	1,200,000		1,130,020	
第3項 通信印刷費	74,991	2,250,000		2,175,009	
第4項 消耗品費	0	300,000		300,000	
第5項 事務委託費	0	1,410,000		1,410,000	
第6項 雑 費	0	100,000		100,000	
第二款 会 議 費	1,247,583	3,000,000		1,752,417	
第1項 会 議 費	1,247,583	3,000,000		1,752,417	
第三款 事 業 費	477,000	12,000,000		11,523,000	
第1項 学 術 費	114,800	500,000		385,200	
第2項 広報宣伝費	0	1,000,000		1,000,000	
第3項 福祉厚生費	0	3,500,000		3,500,000	
第4項 会務連絡費	0	1,000,000		1,000,000	
第5項 表彰慶弔費	96,200	1,000,000		903,800	
第6項 諸見舞金	0	1,200,000		1,200,000	
第7項 渉 外 費	266,000	2,300,000		2,034,000	
第8項 時局対策積立金	0	1,500,000		1,500,000	
第四款 予 備 議	0	561,000		561,000	
第1項 予 備 費	0	561,000		561,000	
合 計	1,939,554	22,481,000		20,541,446	

現金 29,319・普通預金 2,137,934

合計 ¥2,167,253

第38回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会、新卒歓迎会

団結と母校愛を示すとき



「団結ぶりと母校愛を如実に示していただき……」
とあいさつする村井会長

第38回大阪歯科大学兵庫県同窓会会員大会並びに新卒歓迎会は、8月21日（土）午後3時から新神戸オリエンタルホテル・真珠の間で開かれ、県下各地から約600人の同窓が集い、親睦を深め合った。今回は摂津分会が当番し、懇親会では「伊丹太鼓」の勇壮な響きを楽しんだ。

大会は志築専務理事が司会し、伊藤副会長の開会のことばで始められ、村井会長は主要次のようなあいさつをした。

村井会長あいさつ（要旨）

わが大阪歯科大学の同窓生は1万有余人であり、日歯会員の約20%を占めている。そのうち兵庫県同窓会の会員は約1,500人で、母校同窓会の中でも多数を擁する県となっている。

同窓会の目的は母校の発展を助けると共に、会員相互の福祉増進をはかり、生涯研修に努めること、さらに、歯科界の発展に寄与することが加えられ、以来今日まで母校同窓会が歯科界に果たしてきた役割りは多大なものがある。

38年間にわたり開いてきたこの会員大会は、県下各地からお集りいただき、一堂に会して、ともに懇談し親睦を深めることは大変意義深いことである。

平成6年秋に、全国大会を兵庫県がお世話することになり、約2,000～3,000人の規模で準備を進めており、この全国大会を盛り上げるために次回第39回は順延して平成7年に開きたい。

本日、多数の会員がご参集いただいたことで、わが兵庫県同窓会の団結ぶりと母校愛を如実に示していただき感謝している。

最後に、お世話いただいた摂津分会の先生方に心から感謝申し上げたい。

嘉ノ海常任理事の来賓紹介の後、来賓祝辞では、奥野喜一大阪歯科大学同窓会長が「同窓会存立の目的は極めて明解なものがあり、大学の発展を助けることが第一義である。従って、大学の発展と同窓会は運命を共にするが、佐川学長は『学生のための大学、社会に開かれた大学』をキャッチフレーズに、精力的に活性化に取り組んでいる。学生のための大学ということは、同窓生のための大学、同窓会のための大学といえる。

学生は卒業すると、即同窓会に入ってくるものであるから、その意味で大学のためには全力を以ってバックアップしなければならないと考えている。

3年後に創立85周年を迎えるが、これを目途に新しい大学のキャンパスができる。

21世紀に向けての大学の明るい展望を切り拓くための大きな活力を、今や大学は懸命になって生み出そうとしている。

同窓会長の立場から、大学発展にご協力をいただくようお願いしたい」と力強い祝辞を述べた後、続いて佐川寛典大阪歯科大学理事長・学長が「同窓会と大学は表裏一体の立場である。世界情勢を眺めるとき、思想改革は崩壊し、新しい世代の交替が要求されている。この時期に、長い歴史と先輩の築いた幾多の業績に対し、私が引き受けることになったのは天命だと思っている。

決して若輩とはいえない年齢であり、戦前、戦中、戦後の荒波の中で育った一人であるが、過去の経験を将来どう生かしていくか、これが神から与えられた現在の立場であると認識している。あとは、命をかけて大学のために尽したいと考えている。

大学は今、新しい方向に向っている。6年一貫制教育、週5日制授業実施、新キャンパスの構想等々、まさに山積みになった改革の大きな時期である。

同窓の先生方が母校を誇りに思えるような大学づくりを目指していきたい」と大学にかける情熱を披歴した。

引き続き、榎本哲夫近府県同窓会代表、丸川萬吉郎県下各大学同窓会・校友会代表がそれぞ



学歌を斉唱する新卒業生

れ祝辞を述べた。

このあと、美田常任理事が新卒業生を紹介し、村井会長が記念品を贈り、新卒業生を代表して中野敬輔（播磨）君が謝辞を述べた。

さらに、今井撰津分会長の当番分会長あいさつ、安留西宮分会長の次期当番分会長あいさつがあり、岡田常任理事の祝電披露、今井分会長のタクトで学歌斉唱（3番まで）し、最後に小田副会長の閉会のことばで大会を終え、小憩の後、懇親会が開かれた。

新卒業生名簿（大41回生）

氏名	〒	住所
青江 俊郎	665	宝塚市中山寺3-6-3
芦沢 靖	669-52	朝来郡和田山町和田山70-1
宇賀 尚夫	659	芦屋市公光町1-19
大野 憲	654	神戸市須磨区南町1-5-18
奥沢 公子	665	宝塚市雲雀丘2-6-7
小野 毅	663	西宮市上甲子園1-4-25
尾上 拓郎	661	尼崎市武庫元町2-16-1
川崎 紀子	662	西宮市甲風園3-6-25
河合 智佐	675	加古川市米田町平津683
武田 政博	668	豊岡市中央町9-37
龍田 光弘	670	姫路市新在家本町6-5-6
津田 浩隆	664	伊丹市桜ヶ丘3-4-13-202
中野 敬輔	675	加古川市本町1-2-1
西岡 徹	662	西宮市江上町4-8
西村 真理	667	養父郡八鹿町八鹿534-1
浜田 潤一	662	西宮市上甲東園1-19-29
東原 勇元	661	尼崎市南武庫之荘1-29-37-510 高山方
船曳 真輔	654	神戸市須磨区高倉台2-14-14
三木 俊吾	662	西宮市能登町12-16
山田 哲史	663	西宮市浜甲子園2-7-18
横手 優介	679-21	姫路市豊富町甲ヶ丘4-43

21名

懇親会は同会場で午後4時から開かれ、青山
実行副委員長の司会、加宮同副委員長の開宴の
ことばで始められ、来賓の飛田岡山県同窓会長
が乾杯の音頭を取り、各卒業年度ごとに席を囲
んで歓談の輪が広がった。

アトラクションは、南川同副委員長が「伊丹
太鼓」の由来を紹介し、しばし勇壮な太鼓の響
きを楽しんだ。

各テーブルで和やかな歓談が続く中、池沢同
副委員長の閉宴のことばでお開きとなった。



勇壮な伊丹太鼓のそろい打ち



大11回生のテーブル、なごやかな話がはずむ



県下各同窓会・校友会の来賓テーブル

第12回全国会員大会に向け

準備委員会がスタート

—総務企画委員会を中心に—

第1回準備委員会は9月25日（土）午後4時から兵衛会館5階ホールで開かれ、村井会長はあいさつで「来年10月1日に第12回全国会員大会を兵庫県が当番で開催されることはご承知の通りだが、先般、総務企画委員会が会場について実施検分し、会場側の事務局とも打ち合わせをし概要が決定したので、本日の全体会で経過を説明し、今後の準備活動をお願いしたい」と述べた。続いて志築専務が経過説明をし、会場側作成のビデオで進行順路の説明をした。

兵庫県同窓会準備委員会

〔大会委員長〕

村井 俊郎

〔大会副委員長〕

伊藤 彰彦 小田 一尚 中塚 裕
渡部 潔 長濱 禎昭

〔参 与〕

井上貴之介 大浦 波夫 竹谷 三省
溝井三代次 湊 信一 永津 良三
磯島吉之祐 津島 大麓 岡田 一三
稲垣 真也 和田 茂之 松本 清
塩見 洋三

〔総務企画委員会〕

志築 照和 岡田 利雄 前田 孝俊
飯田 浩司 一瀬 健二 橋本 猛伸
大領 孝三 井堂 孝純 本庄 紘

〔会計委員会〕

西条 晃 三坂 明美 池田 英綱
津谷 功

〔渉外委員会〕

笠原 義人 橋川 司 関川 健
小坂 修 蓮池 俊明 小野 晃
宇賀 文夫 前野 康彦 清水 保則
清水 栄一 嘉ノ海昭吾 坂口喜史夫
長谷川秀明 記村 恭造 村瀬 進
西海 啓之 和田 透 飯島 恵一
中川 真 入江 恒夫 正井 正

〔広報委員会〕

中森 康二 川村 幸雄 永井 愛正
木許 隆道 橋本 卓次 北 英一
水田 吉彦 中野 浚次 山口 省三
豊川 輝久 奥田 健

〔登録委員会〕

田村 正 瀧野 俊一 森鼻 正之
小野 勉 今井 章 善本 秀知
山岡 昭二 保井 諧至 南木 秀夫
小川 靖彦 藤井 昭 正井 洋児
鯉田 英昭 森岡 慧 田村 宏
天方 孝彦 河南 博仁 安留 力
野口 勝弘 永井 清方 川口 豊
滝本 亜樹 藤田 義人

〔記念品委員会〕

志水 和夫 美田 良治 石田稜威夫
浜田 幸人 糸永 茂雄 吉江 重夫
西山 彰 志築 秀和 永谷 敏
赤井 高之 渡部 豊

〔受付・接待委員会〕

西田 真和 増田 勝美 山脇 潤三
久保 龍三 藍 亮一郎 大矢 信夫
佐藤 莞爾 高木 馴次 大野 正迪
住谷 道夫 佐本 高明 澤田 隆
神田 孝平

〔案内委員会〕

中村 要 足立 維 高津 全雄
龍田 早苗 塚本 昇平 木村 新秀

守内 道信 下井田久仁夫 嘉ノ海寿八郎
 香山 守 上田 晴敏 豊後 護
 安保 博之 金月 清 宮本 弘義
 糸田 英俊 清原 光次 馬場 弘
 岩田 益司 檜垣 鋭治 加宮 義郎
 原 平和 和久 勝彦 吉田 圭輔
 中塚 史朗 黒田 延彦 水野 康朗
 高田 邦彦 淀 泰尚 吉本 一馬
 守光 昌弘 関本 恵一 浜田 邦夫
 志賀 泰之 青木 和明 深澤 英輔
 和手 甚京

内海 健雄 小寺 高志 青山 康介
 吉崎 久也 原 要次 広田 昌逸
 村上 寛人 福本 利郎 大橋 隆元
 田中 英男 芦沢 修 荒垣 淳一
 松岡 弥栄 小田中 務 橋本 六也
 高木 馴 一瀬 耕介 清水 省吾
 高木 定夫 若林 益夫 林 清徳
 谷上 利夫 石上 隆章 小寺 長蔵
 佐久間恒男 八竹 良清 遠藤 哲雄
 高端 友之 瀧井 源也 田中 義孝
 宮坂与四郎 藤本 和夫 石崎 彦介
 吉本 二郎 山田 旺 佐々木重夫
 中村 博司 西松 元五 一ツ町泰久
 親里 嘉之 入船 忠史 依藤 正
 井口 利彦 楠瀬 昌宏 俣木 療彰
 中原 範人 岩城 正之 佐竹 茂樹
 前田 孝哉 田村 功 橋谷 義尚
 崎山 清直 藤原 到

〔会場委員会〕

内海 利正 寺西 敏一 河合 範夫
 赤井 崇郎 四柳 嘉清 次橋 作蔵
 河村 宏 末岡 彬 井上 正俊
 清水 強 山田 隆造 明石 貴雄
 矢富 義昭 幸田 洋一 庄司 武
 東 文宣

※実行委員会編成時に部署を変更することがあります。

〔大会推進委員会〕

滝本 譲 岡田 太郎 岡田 誠一

全国同窓会会員大会の概要

年月日	当番支部と会場	会員数	出席者数	備考
(1) 30.5.1	京都 つる清	約 5,500	約 500名	
(2) 36.11.4	大阪 メトロ	約 6,000	約 2,300名	50周年
(3) 39.11.23	大阪 梅田コマ		約 2,000名	
(4) 42.11.4	大阪 梅田コマ	約 7,000	約 2,000名	
(5) 46.11.3	大阪 枚方分校		会員 2,100名 家族 100名	60周年
(6) 49.10.19	神戸サンポーホール (親睦と発展)	8,269	約 1,800名	
(7) 53.11.12	京都 国際会議場 (友愛と団結)	8,963	会員 1,582名 家族 133名	
(8) 56.11.3	大阪 太閤園 (信頼と選択)	9,358	会員 2,402名 家族 214名	70周年
(9) 59.9.15	兵庫ポートアイランド (英知と信頼)	9,704	会員 2,138名 家族 139名	
(10) 63.11.13	京都 都ホテル (団結と推進)	10,025	会員 1,943名 家族 177名	
(11) H 3.6.1	大阪 ニューオータニ (伝統と発展) —いま、こころのふれあいのなかで—	10,179	3,013名	80周年
(12) H 6.10.1	新神戸オリエンタルホテル		3,000名 (予定)	

第12回全国同窓会会員大会の準備日程

平成5年5月29日

本 部 関 係	兵 庫 県 関 係
平成4年8月30日 第2回理事会で第12回全国会員大会は平成6年に兵庫県で開催が決定	平成4年8月 新神戸オリエンタルホテル予約日時・場所決定
平成5年4月 平成5年 会報147号に日時会場を予告掲載 理事会に開催概要を報告	平成5年4月 大歯兵庫県同窓会新役員委嘱 平成5年5月 兵庫県関係準備委員会委員委嘱 平成5年7月 第1回総務企画委員会開催 新神戸オリエンタルホテルとの打ち合わせ 式典 新神戸オリエンタル劇場 ホテル9F アトラクション兵庫県警察音楽隊 懇親会 新神戸オリエンタルホテル 10F 大宴会場「真珠の間」 駐車台数 750台
平成5年8月 会報148号に協力要請を予告掲載	平成5年8月 第2回総務企画委員会開催 兵庫県警本部広報課・兵庫県警察音楽隊との打ち合わせ
平成6年4月 新役員委嘱（準備委員会委嘱） 第1回同窓会（本部）全国実行委員会名簿作表	平成5年9月 第1回全体準備委員会開催 大会の概要説明・プログラム原案作製 平成5年10月 第3回総務企画委員会開催 平成5年11月 第2回全体準備委員会開催 平成6年3月 第4回総務企画委員会開催
平成6年6月 会報150号に折込みで登録開始	平成6年5月 第5回総務企画委員会開催 平成6年6月 第6回総務企画委員会開催
平成6年8月末頃 登録締め切り	平成6年7月 兵庫県会員参加登録募集整理 平成6年8月 全国会員参加登録締切
平成6年9月中（登録増強運動展開）	準備小委員会大会推進委員会開催 大阪府・京都府・兵庫県登録依頼 準備小委員会 第7回総務企画委員会開催 会計委員会・渉外委員会 登録委員会・受付接待委員会 案内委員会・会場委員会 <u>会場現場下見</u>
平成6年10月1日（土） <u>本 番</u>	平成6年9月 最終登録増強運動展開 ホテル側・事務局との打ち合わせ 準備小委員会 第8回総務企画委員会開催 広報委員会・記念品委員会 平成6年10月1日（土） <u>本 番</u>



神戸分会

支部回りも殆ど終えることが出来ましたが、神戸分会本年総会の予定が諸般の事情もあり、遅れておりましたので申し訳ありません。出来る限り会員の先生方のご出席し易い日をとということで開催日を考えるのですが、何せ神戸市全区と明石市、三田市という非常に広い分会ですのでその選択に苦慮しております。何とか早急に連絡させて頂きますのでよろしくご理解の程お願い申し上げます。（分会長 飯田浩司）

西宮分会

当分会は9月15日現在、会員数151名、西歯会員243名中62%を占め、昨年よりその割合は1%増となっています。

当分会の総会は毎年6月、今年は12日（土）に西宮神社会館で開催しました。その際、学術研修事業として、元大阪歯科大学助教授の清水建彦先生を講師に迎えて講演会を行いました。演題は「最近の接着性レジン修復法について」でした。

レクリエーションとしては、対象を会員のみと、会員家族とに分けて、年度毎に交互に開催しております。今年1月末に予定しておりました会員レクリエーションは合同葬のため中止しました。平成5年度に入った7月25日（日）に会員家族レクリエーションを開催、バス2台に分乗して神戸フルーツ・フラワーパークでひと時を過ごした後、六甲オリエンタルでジンギスカン料理に舌つづみを打って大いに懇親を深めました。

当会の事業計画の一つに「兵庫県同窓会会員大会への参加」があります。特に来年は大歯同窓会全国大会が兵庫県同窓会の当番により、神戸で開催されることが決まっておりますが、更に再来年の平成7年に第39回大歯兵庫県同窓会会員大会が西宮分会の当番で行われます。当分会一致団結、一段と気持ちを引きしめまして任務を果たすように頑張っていきたいと思っておりますので本年に劣らず多数のご参加を頂きますようご協力の程、切にお願い致します。

（分会長 安留 力）

摂津分会

さる8月21日（土）大阪歯科大学兵庫県同窓会第38回会員大会が、神戸ニューオリエンタルホテルで開催され多数の皆様の出席で楽しい一日を過ごせたことを、当番分会としてお礼を申し上げます。毎年、普段あまり会うことの少ない同窓生との出会いを楽しみに出席しております。今回は当番分会の実行副委員長として皆様楽しんでいただけたかどうか心配いたしておりますが、まず無事に終わりほっとしております。

さて、われわれ摂津分会は伊丹支部38名、芦屋支部35名、宝塚支部53名、川西支部26名の計152名の会員で構成され、毎年総会、理事会、講演会、懇親会と事業計画にのっとり活動しておりますが、今年度は、大阪歯科大学兵庫県同窓会第38回会員大会に全員出席をしていただく為と各支部の懇親を深めるために、平成5年7月11日（日）午後6時より宝塚逆瀬川の「宝仙花」にて総会と懇親会を開きました。

39名の出席があり、宝塚支部のお世話でおいしい料理と楽しい会話がはずむ懇親会が夜遅くまで続きました。

今後共、益々団結して研修、親睦を深め、大歯同窓会の発展のために努力していきたく思います。皆様のご指導よろしく申し上げます。

（青山 康介）

摂津分会

平成5年、今年は何かにつけて異変が起こっていますが、大歯兵庫県同窓会の皆様これにもめげずご健勝で日々診療に専念されておられることと存じ上げます。さて、宝塚支部におきましては現在のところ41名の会員がおります。そしてまた、ご存知のようにこの支部は伊丹、川西、芦屋各支部と共に摂津分会を構成しております。今年は大歯兵庫県同窓会開催のお世話するというので、川西支部今井摂津分会会長のもと、今年2月8日、伊丹歯科医師会館におきまして役員会を開いております。また、この摂津分会の理事会及び総会準備を5月12日に、そして7月11日、宝塚の宝仙花におきまして総会及び祝宴を開き、8月21日に開催されました大歯兵庫県同窓会に向け準備及び参加を呼びかけてまいりました。一方、当宝塚支部におきましても、さる7月31日、宝塚の大八車にて新役員承認、これからの当支部の運営について協議、次回の宝塚支部同窓会開催予定を11月に開くことを決定しております。

(宝塚支部長 加宮義郎)

摂津分会芦屋支部

摂津分会芦屋支部は、本年2名の新入会員を含め現在35名の会員です。4月には、吉崎支部長から池沢(大歯16回)に支部長が交代しました。

日頃は芦屋市歯科医師会で、いつも顔合わせしている先輩後輩の仲ですが、6月19日(土)甲子園都ホテルで久しぶりの会員親睦会を行い14名の会員の参加を得ることができました。やはり同窓会同門とのことで会食を共にすると、話題は大阪歯科大学学生時代の話題が続発、楽しい親睦会を行うことができました。当支部では今後も続けて行きたく思っていますのでよろしく願いいたします。

(池沢親彦支部長:記)

淡路分会・長寿のファクター

私もいつの間にか高齢者に突入し、これからの人生設計をする年齢になった。歳をとると肉体的、精神的な衰えという不愉快な現象が起こるのは避けられないが、もしも暗黒な老後しかないのであったら、いっそ早く死ぬ努力をするのも一案である。そこで、とにかく自分で楽しい老後があるのかどうかを検証してみたいものである。私は死ぬまでに思い残すことのないように、楽しみはしっかり味わうのが上分別であるし、楽しみも、ただ遊ぶだけ以外にいっぱいあるように思うので長寿の秘訣、寿命の予測、等々興味をもって研さんしている。

長寿のための安全因子は、三つあることが推定されている。第一は、血圧が低いこと。第二は、瘦(や)せているより少し肥り気味の方が有利。第三は、タバコを吸わないこと。である。以上の外に長寿因子としての外的世界に対して積極的な関心を続けるということである。新奇な出来事にいつも好奇心を燃やし、地域集団や同窓会に出席して、いろいろな人々とのコミュニケーションを楽しむことである。悪い言葉で表現すると、でしゃばり爺さんでいることが長生きの条件であるといわれている。

(津名支部 竹谷三省)

三原支部

三原郡支部では、現在会員の異動はなく13名であります。例により私達支部にも高齢化の時代を迎えたうえ同窓新会員の加入もなく非常に寂しい思いをしております。

同窓に限った親睦等の会合を行うチャンスが非常に少なく三原郡歯科医師会の活動と一体となっています。ここでの各委員会の活動については、大歯同窓会員がほぼ主体となり種々活躍されています。この先、淡路1市2郡の大歯同窓会が一体となって活動する機会を構成していくことも大切な時期にきているように思われます。

(糸田 英俊)



クラス幹事 だより

専12回 社会保険診療と税の問題に就いて

私は昭和7年3月、大阪歯科医専を卒業しました。専第12回生です。4月同校の副手を拝命し9年4月、助手を拝命しました。助手になると夜間開業を許されますので同年4月2日開業しました。その場所は現在住所、神戸市灘区八幡町3丁目6の19です。昭和11年6月、同校を退職して全日開業になりました。昭和22年、マックアーサーの命令で県市区町村会長が追放され、北野君が県会長を拝命し故清水方政君、故中島君と私が理事になりました。敗戦で歯科器械材料もとぼしく税務署の攻勢がきつく会員の中から医院を閉鎖する者が出ました。そこで二府四県に税務委員会を作り参議院に請願しましたが、議員の中に歯科医師がおらなければ税務問題は解決しないと考え故林氏を昭和25年の参議院戦に出馬させ当選させるべく運動を始めましたが次点で落選しました。昭和25年、社会党の議員を通じて国会に働きかけ社会党のみならず、共産党、自民党、民生党等の了解を取り、故林氏の活動もあって税率30%が実現したのであります。昭和28年に故林氏が当選し、会員の大きな関心事であった社会保険診療料に対する所得率が30%とすることが確定しました。昭和31年7月、故竹中氏が参議院議員に当選し、現在の28%課税が定まったのは故林氏、故竹中氏の努力によることが大であります。37年に故竹中氏が再当選して、28%が現在もつついております。故両氏の功績であることを記して終わります。平成5年9月20日 (清水 省吾)

専18回

大歯大兵庫県同窓会第38回会員大会が、去る8月21日に新神戸オリエンタル・ホテルにおいて、約600名の参加者という極めて盛大の中に、相互の親睦と団結を一層深め更に旧交を温め合った。県下の同期生8名の中、当日の参加者は竹谷、溝井、湊の3名であった。欠席者のために特に付記して置くが、本部の奥野同窓会長は来賓代表挨拶の中で、同窓会存立の目的は財団の発展を援けることが第一義であるが、佐川学長は学生のための大学、社会に開かれた大学、キャッチフレーズに精力的に取り組んでいるが、裏を返せば同窓のための大学、同窓会のための大学と理解し全力でバックアップして行かねばならないと強調。なおまた佐川学長は同窓会と大学は表裏一体。同窓生が世界に向けて自慢出来る大歯大を築きたい。どうか自然を愛し、地球を愛し、こよなく人類に愛の手を差し伸べて頂くことを願いたいと言明された。第2部の懇親会では4名の会員が特に指名を受け、ピアノの伴奏によるカラオケの熱唱で万雷の拍手を浴びたが、この中の2名は、何と驚く勿れ湊、竹谷の勇士であった。

さて、平成5年度の日歯最高顕彰である会員有功章授賞式が、去る9月17日、日歯新会館1階、大ホールで第122回代議員会2日目の午前9時から行われ、日歯審議機関の厳正なる審査の結果、全国授賞者32名中の7名がわが兵歯会員でその全員が大歯大同窓生であった。いずれも永年、地域社会の歯科保健衛生向上発展に多大の貢献をし顕著な功績を挙げたとして、わが学友、大浦波夫、溝井三代次、湊信一の各氏が受賞の榮に浴されたことは、さきに既に受賞されている竹谷三省氏も含め、これぞわが大歯大県同窓会クラス会の燦然と輝く榮光の歴史であり不滅の誇りとして、ご同慶に堪えない。

僚友の益々のご健勝とご活躍を只管祈念する次第だ。今後、更に学友の友情を温めつつ、日一日を、より楽しく、より清く、より美しく生きるために……。(凡夫)



故辻 三郎君



故原 肇君

専21回

平成4年11月7日、原肇君が逝去されました。

原君は昭和29年8月、尼崎市杭瀬に開業され、数多くの役職を歴任され、会のために多くの功績を残されました。

また11月23日に辻君が逝去されました。辻君は開業は大阪ですが、自宅が兵庫県宝塚市であると言うことで、兵庫県天作会のために時を惜しまず協力して下さいました。

今回、城崎総会には、兵庫県が当番に当たっているので毎回出席して準備して下さいましたのに、結局城崎総会には出席出来ず亡くなってしまいました。

いずれは運命とは言え有能な人物を失って誠に残念なことです。

今年の総会は、徳島の当番で大島輝武君と、福島政文君がいろいろと準備をしてくれています。どうか多数出席して下さいようお願いします。

詳細は直接案内が届いている筈です。

今年は第44回総会です。

(小寺記)

専23回

会長よりの原稿依頼の文面の「年代層を超えた会員相互の融和親睦を図るために発行」「会報の内容充実、活性化する」というモットーには、いささか、そぐわないのではと思いつながら、現在の専23回生として心情を訴える立場をご理解賜わりたい。

故 天野 茂君 (H 5.1.31没)

故 上村茂夫君 (H 5.9.9没)

本年度相次いで、二人の旧友の訃報に接し、両君とも長く療養中と術後加療の予後警戒中と

聞いていたので、来るべきものが来たかと、暫し沈思黙考。お互いに古希は越せた年齢には不足はない。

思えば大歯専23回の昭和17年9月、戦時非常措置の繰り上げ卒業は、陸に海に戦場が待っていた。すでに在学中クラス揃って受けた徴兵検査の結果により、卒業式後旬日を経ず夫々に所定の軍務についたのが、第一次の別れ、互いに悲壮な決意に緊張したのも本当なら、一面、運の向くまま、なるようになれと嘯いていたのも嘘じゃなかった。生あって拝した終戦詔書に遙か外地から見た家郷の夢が現実となり復員。

多くの同窓の戦没を聞き運命というもの自身が身近に存在すると信じるようになった。

歯科医師会に迎えられ、歯専卒業時にはなかった自分の本職は歯科医だという自覚は同窓の先輩各位の薫陶により培われたと確信し、同期生たちとは、おつりの人生だなどと、ゆとりを演出して、いま蔓延の戦争被害意識を極力軽蔑する哲学になじんだ仲間だったのに。

天野君 母校付属病院の近く馬場町の部隊に入営、終戦時は八丈島で水際陣地の小隊長。

私も比島への輸送出戻り、台湾で敵の上陸防禦に明け暮れたので水際陣地の同じ苦勞の話題は尽きない。

上村君 海軍歯科医の道はそつなし。任地の元山一台南からの便りを追うように私も奇しくも、羅南一高雄と部隊の移動。戦後陸、海軍の呑みっぷり交歓は丁々廃止だったが、近年、術後やや回復気味だと出て来た祝いにと三宮で呑もうとしたが、ビールもにがい、口になじまぬと言う、友人達は天地の異変の如くいぶかるので、激励もこめてまずリハビリは酒からやれとけしかけたものの往年の彼を知る者として非情に淋しかった。

今月28、29日、二三会は高知で集まる。

年々寂しくなるクラス会だが、出席は元気な者の責務だと、故人の追憶も賑やかに歓談盛り上げて供養としたい。

合掌。

(八竹：記)

専24回 (にしき会)

私達は去る9月18日、卒業50周年を迎えました。戦争は熾烈を極め、繰り上げ卒業、直ちに第一線へと、学窓を後にしたのが、昭和18年9月18日でした。

この記念すべき日に、茨木京都ホテルで、母校学長佐川寛典先生をお招きして、「にしき会卒業50周年記念総会」が、38名出席のもと盛大に催された。

兵衛には現在16名が在籍、2～3名が病氣療養中ですが、他は元気で頑張っております。最長老は尼崎在籍の前田喜一君で90歳です。

クラス代表の岡崎卓司君(大阪)が、学生時代のアルバムから、また遠藤(兵庫)の写真集と写真展の模様を、静岡の福島君の金泥をつかった見事な書を、ビデオに編集し紹介、思い出話に花を咲かせ、また古谷、岡君(共に兵庫)らが、得意の喉を披露、和やかな一夜を過ごしました。

兵庫県からは、塩見、岡、内海、金子、古谷君らと小生、それに親里、川西君夫妻が出席。

来年は兵庫県で大歯同窓会全国会員大会が、開催されますので、神戸での再会を約し、岡崎君苦心の記念テレカや福引きの賞品を土産に、翌朝それぞれ帰路についた。(遠藤:記)

専27回 牧陵会

今年は梅雨から夏、秋と雨の日ばかりで不順な天気が続きますが、皆様身体に気をつけて毎日の診療に頑張っておられる事と思います。昨年第45回記念牧陵会ということで、われわれ神戸人会が世話役で韓国濟州島に記念旅行が決定(H4年10月8日→11日)厚味君ご努力の世話により神戸人会の役目をはたすことが出来ました。(濟州島旅行の詳細は大歯大同窓会報147号に記載してあります。)母校において卒業後40数年に亘り後進の指導並びに歯学研究に活躍された稗田、覚道両教授の定年退職されるにあたり、両教授の記念講演会が、H5年2月20日、大歯大天満学舎大講堂において行われました。3月25日、明石で頑張っておられた森俊夫君が

病死されました。3月26日、稗田教授退職記念会が行われました。7月27日、牧陵会総会が京都美濃幸で同級生52名が出席し開かれ、大歯大、稗田、覚道、河原、朝日大、木村、柴田、藤木、北海道大、三木、神奈川大、山中の同級生八教授が全部退職されますので、牧陵会より記念品がおくられました。8月21日、大歯大兵庫県同窓会々員大会が行われ、神戸人会より9名出席しました。9月10日、西宮の田村君が病死されました。森君、田村君に心からご冥福をお祈り致します。また第12回全国同窓会々員大会がH6年10月1日開催されます。牧陵会の諸兄奮ってご出席して下さい。近況を乱文ですがお知らせします。皆様お身体には十分ご注意ください。同窓会のためご協力をお願いします。

(専27回牧陵会神戸人会 高木友之)

専30回

早いもので今年も10月に入り秋の気配がヒシヒシと迫って来ております。みとわ会の先生方にはお元気のことと思います。さて、去る9月25日、全国みとわ会総会が富山市の電気ビル会館で開催されました、出席者数は夫人同伴を含めて総勢54名でした、卒後40年が経っての全国同窓会総会に出てこられた同級の方々はまだことに元気はつらつとした人々で会場内は、郷土名物の出しものの中、明るくにぎやかな状況を終始呈しておりました。総会はいつものように開会の挨拶に始まり、各府県の代表の近況報告があり、学歌斉唱で終わったわけですが、なかでも品川代表にいたっては松葉杖をついての参加で話によると、スキーの古傷によるもので形整外科手術を行っての出席だったようです。わが兵庫県みとわ会は、当日はたまたま兵衛代議員会が開催されたこともあって常々のメンバーは欠席でしたが、朝日大学の森教授夫妻と、池田昭江先生が出席して下さい、なんとか面目を保ったという所でした。天気もよく翌26日には、またの再会を楽しみに散々のごと帰路につきました。

なお、来年度は、大歯大全国同窓会の開催地が、ご承知のように兵庫県と決まっております。

す。小生も挨拶の中でその件にふれましたが、全国みとわ会の来年の開催地について、今の処、三重県の方からの申し出がありましたが大府としては出来れば兵庫県でとの思惑もあるようです。品川代表との話し合いで、近い早いうちに調整をして決めたいとのことでした。今回までは全国みとわ会総会報告として筆をおきます。今後ともご協力を願います。

(代表：関川 健)

専32回

兵庫県三二会、諸兄姉の皆様、お元気のことと拝します。ご存知とは思いますが、今年度の全国三二会の北海道旅行総会は中止になり、次年度は京都で開催予定との連絡を受けております。

なお、来年平成6年10月1日(土)に兵庫県(新オリエンタルホテル)で、大阪歯科大学同窓会の全国大会が開かれます。約3,000人の方々が集まられるとのこと、その時は皆様全員のご出席を期待いたします。

近頃、老人の日とか、高齢化社会とか、いろいろと情報過多の時代、われわれも身近に感ずる年頃になってきました。しかし、われわれはまだ60歳代です。まだまだ伸びていく時と情熱をもって年齢相応の知恵を絞り、未だ発揮されない秘められた可能性に挑戦して感性豊かな心の時代に進みたいと思います。何かの本にあったように「自由」とは「自らに由(よ)る」自分を取り巻くさまざまな条件に振り回されることなく、自分のあり方を決める自由「freedom for」の人生を歩みたいとも思います。

さらに「絆(きずな)」という字は糸へんであって離れていても黙っていても糸で結ばれているとあります。いつまでも切れることはないことを信じて、再会を楽しみにしております。

(藤本 和夫)

「長浜禎昭学兄藍綬褒章受章を祝う」

大1回(一黎会兵庫支部)

わが大1卒一黎会兵庫支部の長浜学兄が去る4月29日、保健衛生部門で藍綬褒章を受章しました。

われわれのクラスは昭和28年卒、今年卒後40周年の記念クラス会を11月20日、大阪ロイヤルホテルで行う予定だが、彼は大阪歯科大学卒業と同時に補綴教室の助手として入局し、彼の父が母校のやはり同じ教室の教授で陶材学のオンリーティーであった関係で、当然、彼も学研の道を道むものと思っていたが家庭の事情か、まもなく西宮市に診療所を開設し、卒業して5年で早くも西宮市歯科医師会の理事に抜擢され、爾来、社保並びに国保診療報酬支払基金審査委員を始め、多数の官公庁関係委員、歯科衛生士学校講師、理事、西宮市歯会々長、県歯会副会長等々、医療行政、教育に関し、公衆衛生、社会福祉の向上と、地域社会への献身的な活動と歯科界の向上発展に尽力し、これまでも日本公衆衛生協会会長表彰、厚生大臣表彰を受賞し、この度の藍綬褒章の栄に浴した。

これを祝い一黎会兵庫支部では、6月9日(水)皇太子御成婚の祝日PM5:00より三宮の西村屋たじま路で在県のクラスメートが集い彼の受章を心より祝福し記念品を贈呈した。これを機に健康に留意され今後ますますのご活躍を希うものである。(山田 旺:記)



長浜学兄受章祝い

H5.6.9(於:西村屋たじま路)

大8回

平成5年は、春から続く天候不順か虫の泣く声を耳にする今も気象のはっきりしない日々が続いています。この冷夏が日本列島各地では農作物に影響を与えてる。台風の通過で、九州地方は大きな被害を受けた。

また地震による被害は北海道、奥尻島に今も残ったまま、異変続き山形県の山岳部では今、初夏の草花が咲き揃ったというニュースが報じられました。

永く続いた保守一党支配政権は崩壊し、保革連立政権が誕生し政治体制も大きく変化した。経済面でも円高(104円)時代で経済不況が続いています。異変変化の年として経緯するのでしょうか、全く予想予測の困難な時を迎えている昨今です。

一通の封書大歯同窓会より『同窓会報』の原稿投稿依頼があり、クラス会の活躍状況を報告して下さいとのこと少し戸惑いがある中近況報告として特に記載するような状況が思いつかないまま筆を進めている所です。

われわれ大歯同窓会第8回おやしらず会兵庫県支部は、現在27名です。卒業以来38年の歳月を数える年代になりました。同窓生諸氏は、各郡市区会にあっては会務につかれ各会務に日夜ご精進されているとのこと、また各地域社会にあっては、それぞれの立場と分野で社会参加され、よい人間関係の中で活躍されている報にも接しています。現在では、同窓一同が健康で社会の人々と共に幸福な人生を送っているといった感があります。

特記すべきは、おやしらず会でいつも中心的に且つ和を以て接し、よく会のお世話を願っている清原光次君が、平成5年度より兵庫県福祉部、国民健康保険課、歯科指導監査専門医に就任されたことです。

年に一度総会と親睦会を同時に開催します。平成5年4月17日(土)6時30分～料亭『わかば』にて、平成4年度総会後親睦会を開催し多数の出席を得て盛大に終えることが出来ました。当日、総会前に六甲国際カントリークラブにて、ゴルフ・コンペも開催しました。

互いに健康で現在数の同窓生が末永く年一度の総会親睦会に多数出席されることをお祈りしながら『おやしらず会』の報告とさせていただきます。

今後共に大歯同窓会の諸先生方のご指導とご鞭撻の程宜敷お願いします。1993. 9. 16

(クラス幹事 河村昌行)

大11回 兵士会

兵士会の皆様お変わりございませんか、先日兵庫県大歯同窓会には兵士会員は20名程の参加があり、大変楽しく過ごすことが出来ました。兵士会は仲良く参加者も多いことに定評があります。

月日の経つのも早いもので、今年は卒業30周年に当たります。学生時代の思い出もそんなに遠く感じない精神的若さを保っているつもりですが、最近ややもすると体力の衰えを少々感じる時があります。この年齢になりますと、ゴルフにテニス、フィットネスにと意識的に体力の衰えを防ごうと努力されている方も多いことと思いますが、久しくお会いしていない方もお元気でしょうか。

さて30周年ですが、大歯同窓会報に今井久夫君が投稿されております通り、30周年記念同窓会準備委員会も出来、準備委員長、高松平人君が中心に進められております。30周年日程は次の通りです。ぜひご参加下さいますようお願いいたします。

開催日時 平成5年11月27日(土)

PM 2:00～5:30

PM 2:00～3:00総会、式典、
写真

PM 3:00～5:30懇親会

場 所 大阪ロイヤルホテル

(スカイラウンジ)

当日会費 ¥30,000(同伴者¥20,000)

また兵士会では、原周作君のお世話でクラス会が予定されています。冬の寒い時期に篠山方面でシシ鍋を突こうではありませんか、詳しいことは後程ご案内いたしますが一応下記要領の予定です。

日時 平成6年2月19日(泊)、20日朝解散
場所 国領温泉(春日)
ゴルフ 小野グランド(予定)
(大野正迪:記)

兵庫登美栄会(大13回)

全国の同級生のクラス会は、大阪を軸として各地持ち回りで開催され、本年は兵庫県の私たちが担当することとなり、神戸ポートピアホテルを会場にして6月12日に開かれました。

この日のために2年前から、兵庫登美栄会の会員一同一生懸命準備を進めてきました。

会の前日の11日には親睦ゴルフ大会、夕刻からは大会前夜祭を神仙閣でにぎやかに楽しみました。

12日当日には、大歯大学長佐川寛典先生大歯同窓会より会長の村井俊郎先生はじめ長濱禎昭先生、中塚裕先生、志築照和先生にご多忙の中ご臨席いただきました。それに私たちの努力のいかいもあり、全国同級生の6割にあたる140名弱の出席者がありました。

会は来賓の先生のご祝辞などいただき、鏡割やアトラクションのサンパダンスを楽しみ和气あいあいの内盛大に終了いたしました。

再来年卒業後30年の大会を大阪で開催されまのを楽しみにして、再会の約束をいたしました。

兵庫登美栄会は、毎年定期的に総会、学術講演会、会員親睦旅行をいたしています。

今年の旅行は、幹事に高橋靖昌君に依頼し、会長の井堂孝純君以下兵庫登美栄会会員の半数に当たる15名の大所帯?で9月18・19日に浅虫温泉で一泊し、青森・弘前方面に行ってきました。いつもの旅行のように、朝にビール一杯、ゆうべに酒一献、宵に水割り一口と頭と眼はさえることなく、お腹は休むことなしという愉快的な旅でした。

こののち来年には新年会3月には総会を予定し、ますます仲の良い会にしていくよう努力して参りたいと思っております。(井堂:記)

大26回 早蕨会

兵庫早蕨会の皆さんお元気ですか。今年の夏はいつ始まって、いつ終わったのか判らない、雨ばかりのまるで今の日本を物語る夏でした。

そんな中で、大阪歯科大学同窓会報148号の83ページにわれわれ同窓会の写真を見つけたときは久々に感動致しました。同窓会報で見る写真は何故か先に送られて来たカラー写真よりも胸にジーンとくるものがありました。

岡本浩一君、斎藤誠一君、津村明史君
浅原昌三君、今上康夫君、木下 保君
に改めて感謝する次第です。

そして本当の影の力となってくれた空地輝明君に心から感謝致します。彼はすべての同窓一人一人に電話で参加を呼びかけてくれました。

次回、京都での早蕨会同窓会の日程が決定しています。既に皆さんのお手元にハガキが届いているはずです。平成6年6月6日 京都グランドホテル、午後4時となっています。兵庫早蕨会は全員参加で臨みたいと思います。

7月24日に幹事会を開催致しましたところ残念ながら兵庫早蕨会の総会は来年となりました。

最後に大成功となりました昨年の早蕨会同窓会の収支決算ができましたのでご報告致します。

皆さんのご協力のおかげをもちまして無事黒字決算となりました。ありがとうございました。(志築秀和)

1992.11. 早蕨会兵庫会員大会会計報告

収入の部

会費収入	¥2,323,000
その他の収入	¥105,000
収入総額	¥2,428,000

支出の部

パーティー会場費	¥2,250,982
(総会・懇親会)	
準備費(通信・会議場)	¥123,228
雑費(名札・コピー他)	¥47,335
支出総額	¥2,421,545

収支決算

以上の通り今回の早蕨会兵庫大会は、¥6,455の

黒字決算にて、会計を締め残額は、兵庫県早蕨会
会計に吸収しました。

早蕨会兵庫大会会計 津村 明史

大27回 兵庫飛翔会

6月19日、神戸北野クラブにて平成5年度総
会並びに懇親会を開催しました。前回から講師
を招いて、歯科以外の話をしてもらい、知見を
広めようという試みをしているのですが、今回
は日頃からお酒に関して造詣の深い同窓の高石
佳知君にワインについて、その味わい方やマナー
について話をしてもらい、実際に食事をしなが
らシャンペンやワインを飲み比べて、ワイン
談義に花を咲かせました。日頃なかなか飲めな
い高価なシャンペンも、おおぜいなので少しず
つではありましたが飲むことができましたし、
普段から疑問ではあっても誰にも聞けなかつた
事柄でも、気のおけない同窓会では気にせず
に聞くことができ、とても有意義なひとときを
過ごすことができました。

また10月30日には、丸山忠治君のお世話で、
ライオンズカントリークラブにて、兵庫飛翔会
のゴルフ大会を行う予定です。

(橋本芳紀：記)

大28回 庚申会

庚申会の皆様お元気ですか。体調を崩してい
る人も最近あちこちで聞きます。(私も含めて
…)また家族の方の病気で生活が一変した方も
ありましよう。ひとりひとり体に気をつけて下
さいますよう心からお願い致します。誰が病
気、誰が体調悪しとは仲々同窓会報に書きにく
いので、そういう風のたよりを聞いたら、空か
ら地球をみれば、隣に住んでいるようなもので
すから、激励の電話等かけてみてはどうでしょ
うか。

1993年10月16日に兵庫主催で庚申会同窓会が
開催されるに及んで、兵庫県の皆様には本当
にお世話になりました。ご苦勞様でした。

来年10月1日(土)は、新神戸オリエンタル
ホテルにて大齒の同窓会があります。庚申会の

皆様も万障繰り合わせの上ご参集下さいますよ
うお願い致します。

また、来年の10月最終の土曜日、四国で庚申
会同窓会があります。土曜日は、なかなか週休
2日の対象にならないようではありますが、一番
近い兵庫県の皆様どうかご協力下さいますよ
うお願い致します。庚申会の同窓会へ出席した
ことがない方は、これを機会にご出席下さいます
ようお願い致します。兵庫県には約40人の同級
生がおります。最近、集まる予定が立たない
ので、兵庫県の同窓会をしておりませんが、ま
た機会をみつけて開催したいと思っております。
何卒よろしくお願い致します。今年の夏が、変
だったから、今年の冬は、気を付けて生活して
下さいますよう。冷夏が来ると次の年は、風邪
が流(はや)るそうです。ご自愛下さい。

(永谷 敏：記)

大29回

仁玖会の皆様、お元気ですか。今年は長い梅
雨、地震、冷夏、台風と、日本列島はどうなっ
てしまうのかと思われるほど、嵐が吹き荒れま
した。皆様の地域は、大丈夫でしたか。私の付
近では、アンテナの折れた家や、街路樹の倒れ
たところなどもありましたが、幸いにもわが家
に被害はありませんでした。しかし、いつ何事
が起こるかもしれないということを、思い知ら
され、良い教訓になったようです。

さて、去る8月21日、大阪歯科大学同窓会が
行われ、同日に、仁玖会の会合が行われました。
しかし残念ながら参加者がとても少なく、
寂しい会合となりました。今回、県内の同窓生
を対象にゴルフや旅行などの案を、話し合い
たいと思っておりましたが、少人数のためか活
発な意見もなく、話は中途状態で終わってしま
いました。

同窓会というものは、何事を行うときも、皆
の協力がなくては、やっていけるものではありません。
しかも、ひとところに集まって同じ
時間を共有することが、一番大切なことでは
しょう。皆様、いろいろとお忙しいとは思いますが、
1年に1回のことですので、お繰り合わせ

のほどご配慮をお願いしたいと思います。

参加者が少ない中、清水先生が手頃な料金で、とても落ち着けるよい店をとって下さいました。お互いに、診療内容から従業員、技工士のことまで、話は盛り上がり、自分の気がつかなかったこともあり、良い勉強になりました。また、日頃思っていることを言い合ったりもし、お互いのストレス発散にも、一役買ったように思います。お陰で、二日酔いになるほど飲んでしまいました。

さて来年は、全国大会が、神戸オリエンタルホテルで行われることが決まっております。同じように、その後同日に、仁玖会も開きたいと思っておりますので、どうぞ予定のほど、よろしく願いいたします。（赤井 高之）

大33回

大歯33回兵庫県同窓会では、卒業後毎年開催している親睦旅行を、今年は大西和久先生の幹事で、4月10、11日に徳島にて行いました。

例年156名の参加ですが、今回は都合の悪い常連が多く、松田芦浩、林哲平、岩田耕三、足立優、中原範人、大西和久、秀有剛、寺野敏之と8名の小旅行となりました。

ホテル伊左久での宴会、スナック、ラウンジと酒の量が増すにつれて盛り上がり、最後の「王様ゲーム」では歯科医師の自覚を忘れてしまったようでした。

深夜に食べた手打ちうどんが、今でも忘れられない美味で、特別にお持ち帰りを作って頂いた大西幹事に感謝しております。

来年は再び県内で開催する予定です。

末筆になりましたが、会員一同、平成6年の大歯全国大会の成功に向けて最大限協力させて頂きたいと考えておりますので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。（中原 範人）

平成5年11月1日

発行所 大阪歯科大学兵庫県同窓会

神戸市中央区山本通5丁目7-18

電話 (078) 351-4181

編集発行人

志 築 照 和